





深き森に住まう
ダークエルフ

彼の者たちは高い魔力を持ち
その優れた知性によって
高度な文化を築いた

病没した先代女王が
遺した一人娘

若き女王カミラの統治によって
森は平穏を保ち続けていた

女王カミラは隣国である
マルティス王国と
友好関係を結び

人間との交易によって
森に大きな発展を齎した

そんなある日、彼女の下に
耳を疑う情報が舞い込む――

**ガ
ダツ**
ダークエルフ達が
捕まっただど!?

いったいどういふ
ことなのだ!

交易に行った
若いダークエルフたちが
戻りません

クバル男爵が
屋敷に連れ込んだとの
目撃情報もあります

馬鹿な!?

クバル男爵は我が国と
長年に渡って交易をしてきた
同盟相手だぞ!

しかし状況的に
もつとも怪しいのは
クバル男爵です

ここは使者を立てて
男爵を探るのが
上策かと

同盟相手にそのような
無礼な真似ができるか!

妾が男爵のもとに赴き
真実を問いただす

この件については
他言無用だ
よいな!

ははっ!!

それで？
こんな時間に

女王自らが
出向いての
ご用件とは？

クバル男爵！

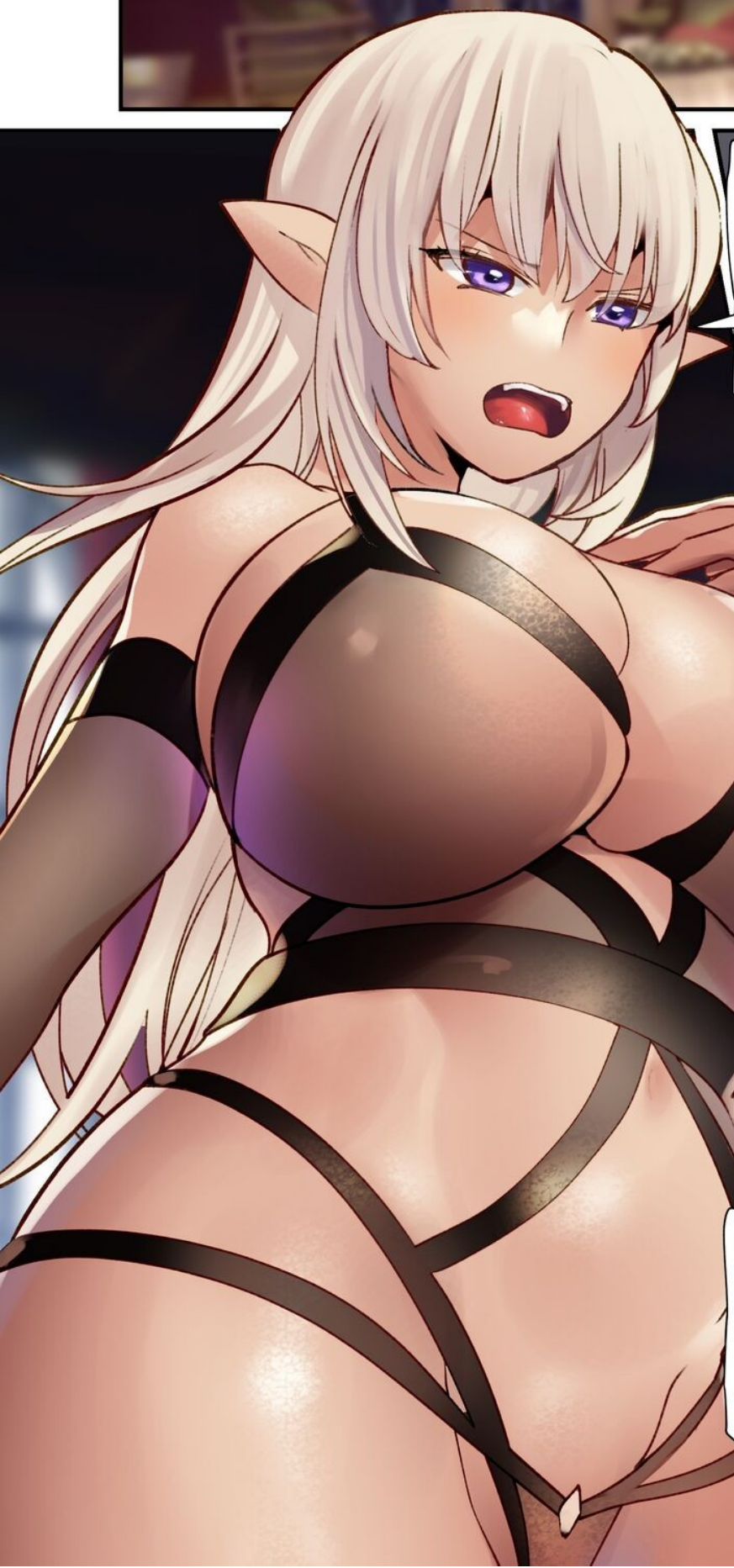
我が国の民が貴殿の領地で
行方不明となっている

この屋敷に連れ込まれたとの
証言もある

いったいどういうことなのか
説明していただきたい！

ククツ…
ハハハハハッ

な…
何がおかしい!?





女王と言えど

箱入りお嬢様で
あることには変わりない

なにをっ
ずい...

でなければ単身で屋敷に
出向くような愚行は冒すまい

儂がダークエルフを捕らえた
理由を教えてやろう

それは
お前だよ
カミラ

なっ!?

むに♡



...くっ

そうだ
それで正解だ



貴様ツ!

駄目だ

今この男の
機嫌を損ねては…

同胞たちに
危険が及ぶ…

こんな…

こんな事を
するために

我が同胞を
捕らえたのか…ッ!

ギョッ

まさか

こんなものは
前座に過ぎん
儂の本当の
目的はこれだ

グハッ…

なんだそれは…?

これは隷属の首輪と
呼ばれる呪いのアイテムだ
首輪を付けた人間を
服従させることが出来る



ダークエルフどもを
助けたければ
この首輪を嵌めるがいい

それが人質の
解放条件だ



卑怯な……!

だが呪いのアイテムであれば
魔力が高いエルフの身体には
影響が薄いはず……
従うふりをして
後で解呪を試みればいい



……いいだろう
その条件を飲もう

くくく
懸命な判断だな



すま……

ガキ

カミラ様!

助けに来てくれたのですね!



ああ

ちよつとした誤解があつたようだ
クバル男爵が国に帰る手はずを整えてくれた

そなた達は安心して森に戻るといい

妾はこの機会にマルティス王国の視察をすることになった
一月ほど留守にするが何も心配いらぬと家臣団に伝えてくれ

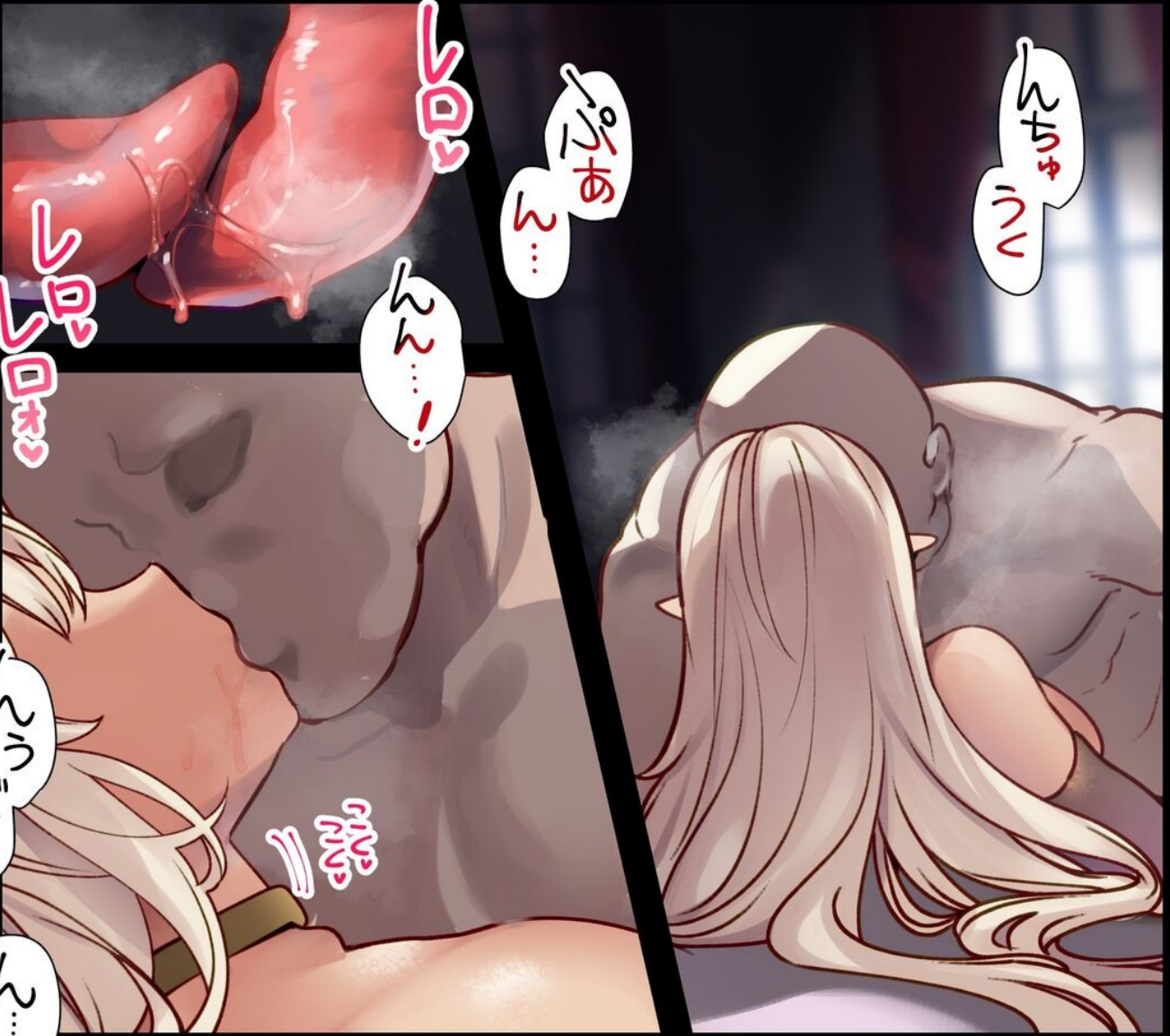


はい!

かしこまりました

森でカミラ様の帰りをお待ちしておりますね







ふふっ
さすがはダークエルフの女王
甘露な味わいだっただぞ

誤算だった

まさかこれほどまでに
強力な呪いだとは…
身体がまったく
言うことを聞かない…!!

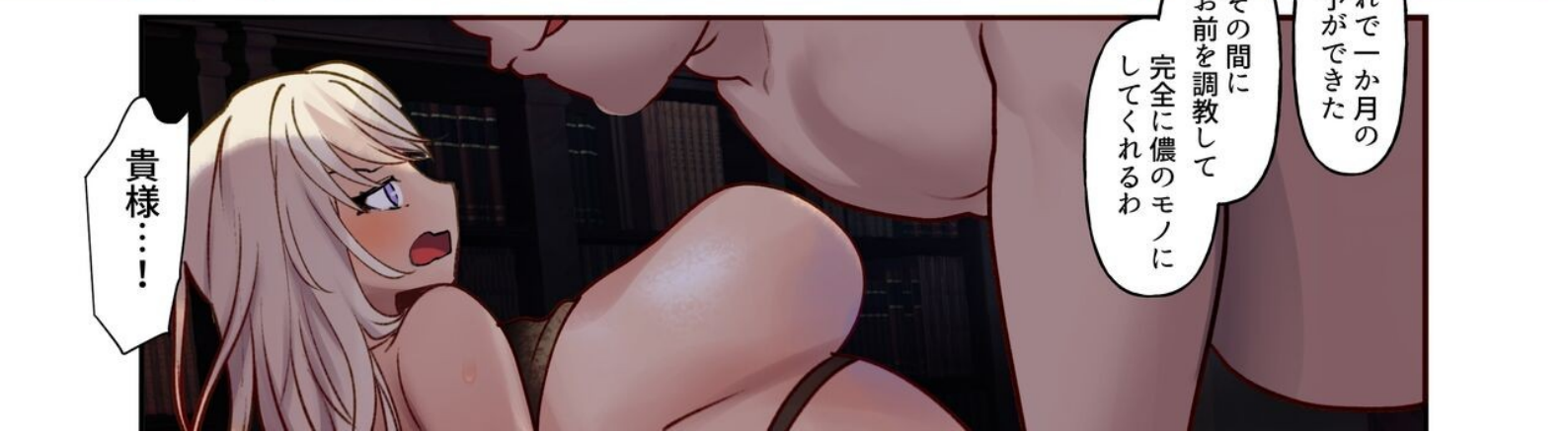
先程は見事な
演技だったぞ
あのダークエルフ共も
お前の言う事なら
信じるだろう

…っ!!

これで一か月の
猶予ができた

その間に
お前を調教して
完全に僕のモノに
してくれるわ

貴様…!!





反抗的な目だな
だが無駄だ

脱力して
俺に身体を預けよ

た...

ああ...うぐ
はあ...



!?

さて
今度は下の味を
確かめてさせて
もらおうとするか

な
なにを...!?

おし...

それから毎日のように
カミラへのセクハラは続けられた

あ
あ
あ

あ
あ

ズ
ン
ズ
ン

ト
ン

いやあ
んんう!!

呪いで身体を操られ
男爵が望むプレイを強要され続けた

あ



一週間後



ぜ...
全部入れたぞ

はっはっ

はっはっ

はっはっ



ククッ
ケツ穴の開拓も
しなくてはな

...ッ

ではそのまま
パイズリしろ
教えた手順通りにな

うう...
なぜ毎回
嗅がせるのだ

唾液をしつかりまぶして
満弁なくコーティング

レロレロ

ゴウゴウ

おもち...

おっぱいで
こすり合わせながら

亀頭を丁寧に
嘗め回す

どうだ
こいつをお前の
ケツ穴にぶち込めば
最高の快楽を味わえるぞ

ちゃ

ちゃぽ

こいつ...

そのために妾のお尻に
こんなものを入れたのか...!

うっ...

いかん
意識したら
お尻が...

きゃん
きゃん



おっぱい!?!

おまんこ

お尻

おまんこ

おまんこのお尻

奥っ...
深い...無理っ
こんなのむりい...!

おしりで
イカされるッ

ズンズン

ズンズン

アッ

おまんこ

ズンズン

ズンズン

ズンズン

ズンズン



三週間後

さて

期日が
近づいてきている

女王が戻らねば
ダークエルフ共は
僕の屋敷に殺到するだろう

!?

ははっそうだ

まもなく同胞が
救出にくる!

妾の勝ちだ!

最後まで
貴様の辱めに
屈しなかった

妾の忍耐が
勝ったのだ!





これ以上時間を
掛けることはできなくなった

多少強引にでも
屈服させる必要がある

ふ…ふん

今更どのような
辱めを受けようと
妾は決して屈せぬわ！



ぐふふ
その威勢がいつまで
もつかないかな

カクッ

な…なんだ
こやつ自信は…！

だが何が来ようと
妾は耐えぬくのみ



んあ…

な…
なんだこれは…



これを塗ってやろう



どうだ？
こういうのも
なかなかいいだろう

何をバカな…ッ！

俺の腕のなが
そんなに心地いいか？

な…!!
そんなこと
あるわけが…!





どれ
すこしだけ身体の
自由を戻してやるう

う…
動けな…!?

ど…
どうして…!?

もう十分効果が
出てきたようだな

なにを…
妾に何をした…!

このヌルヌルは
共心油という
魔法の油だ

油を塗り
身体を重ねた人間の
精神を交わせる

妾の心が…
この男に…?

ダークエルフの
国を差し出すには
クバル様との
婚姻が必要

クバル様に
この身を捧げれば
全てが解決する
逃げるなど
言語道断

ち
違
う

!?

妾はそんなこと
思っていない…!



あーっ
あーっ

はあ
はあ

ア
ア

あ
あ

あ
あ

気持ちいいいいいい♡



そうだ

もっと吸い付け
これから儂らは
夫婦になるのだからな

ぐんぐん
ぐんぐん
ぐんぐん

ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ

んちゅ
んちゅ
んちゅ

旦那様

旦那様あ♡

んっ
んっ

んっ
んっ



でかいおっぱいを
晒しておって

ならもつと
アクメしろ！

旦那様の為だけに
育てたおっぱいです

元気な男の子が
孕めないぞ！

のあん

のあん

のあん

のあん

のあん

のあん



はひいっ！

はは

がんばります
いっぱい子どもを産んで
最強の帝国をつくりましょう

キーン

うおっ
このマンコ
急に儂を喜ばせおって

アッ

のあん

のあん

のあん

のあん

のあん

はあっ
はあっ
はあっ…

これでいい

これでダークエルフの
国は儂のものだ

トッ♡

トッ♡
トッ♡

トッ♡

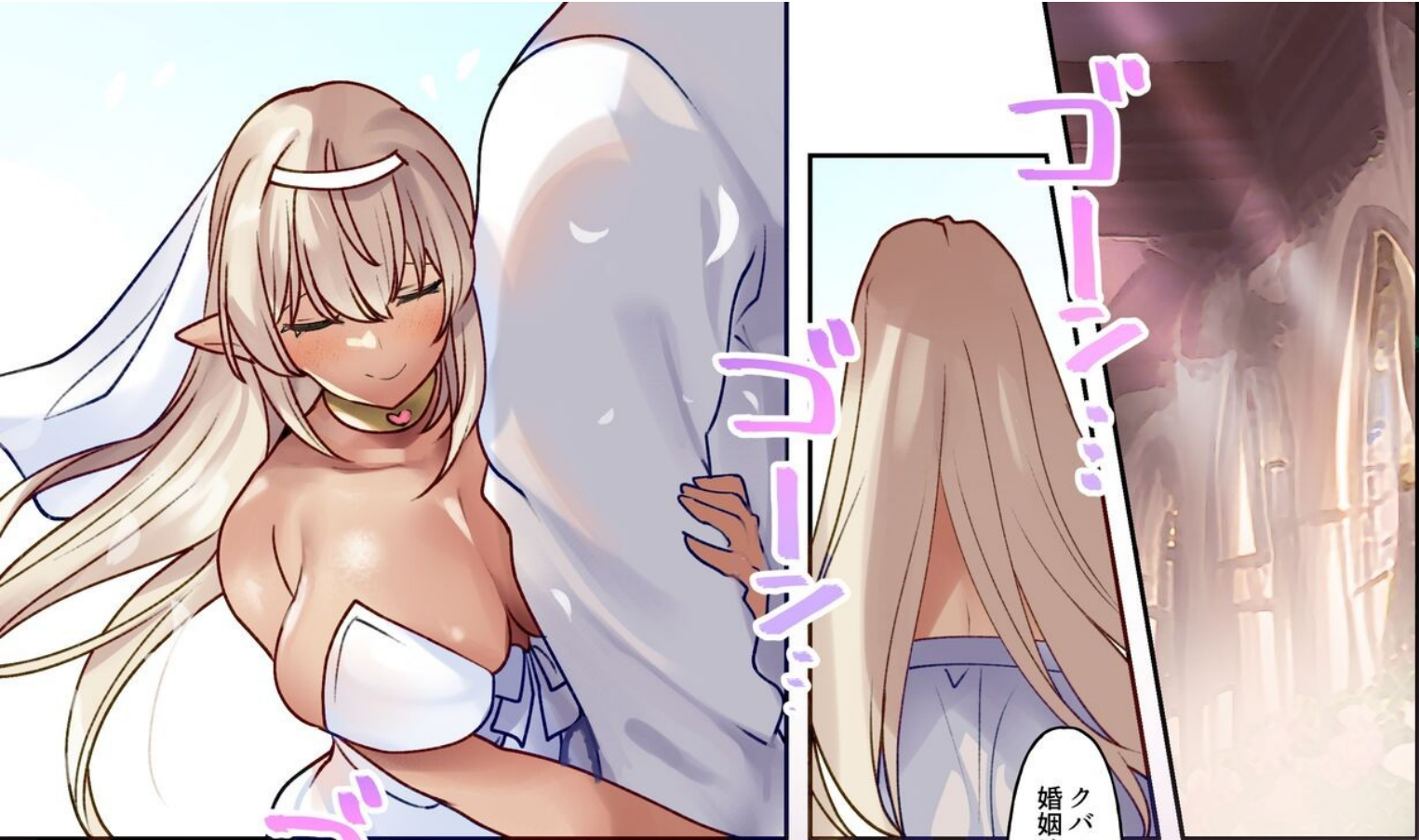
トッ♡
トッ♡

トッ♡…

トッ♡…

トッ♡
トッ♡

旦那様の射精…っ
好き…♡



クバル男爵とカミラ女王の
婚姻は成った!

両国には大いなる繁栄が
齎されるであろう!

ゴーン...



ぬふふ...
恋人のように
腰をふりおって

ああん...
それが妾の
役割ですからあ



ああん
素敵です
旦那様あ



僕の野望に
貢献した褒美だ
今日は好きだけで
中だしてやるぞ!

エッチな汁が
止まらない
カリがが膣内を
こすりあげりゅううう



すこすこ



最高だカミラ
壊れるまで
可愛がってやるぞ

お前は俺のためだけに
生きるがいい

はっ
はっ





